

福山市 地震防災マップ ~揺れやすさマップ 拡大版~

地震防災マップの役立て方

①お住まいの地域がどのくらい危険かを確認します

市全域でどのくらいの震度が予測されているかを、市全域版でチェックした後、拡大版でお住まいの地域周辺を確認します。同じように、「地域の危険度マップ」では、建築物がどの程度全壊するか、被害予測を確認することができます。

②日頃どんな備えをしたらいいかを確認します

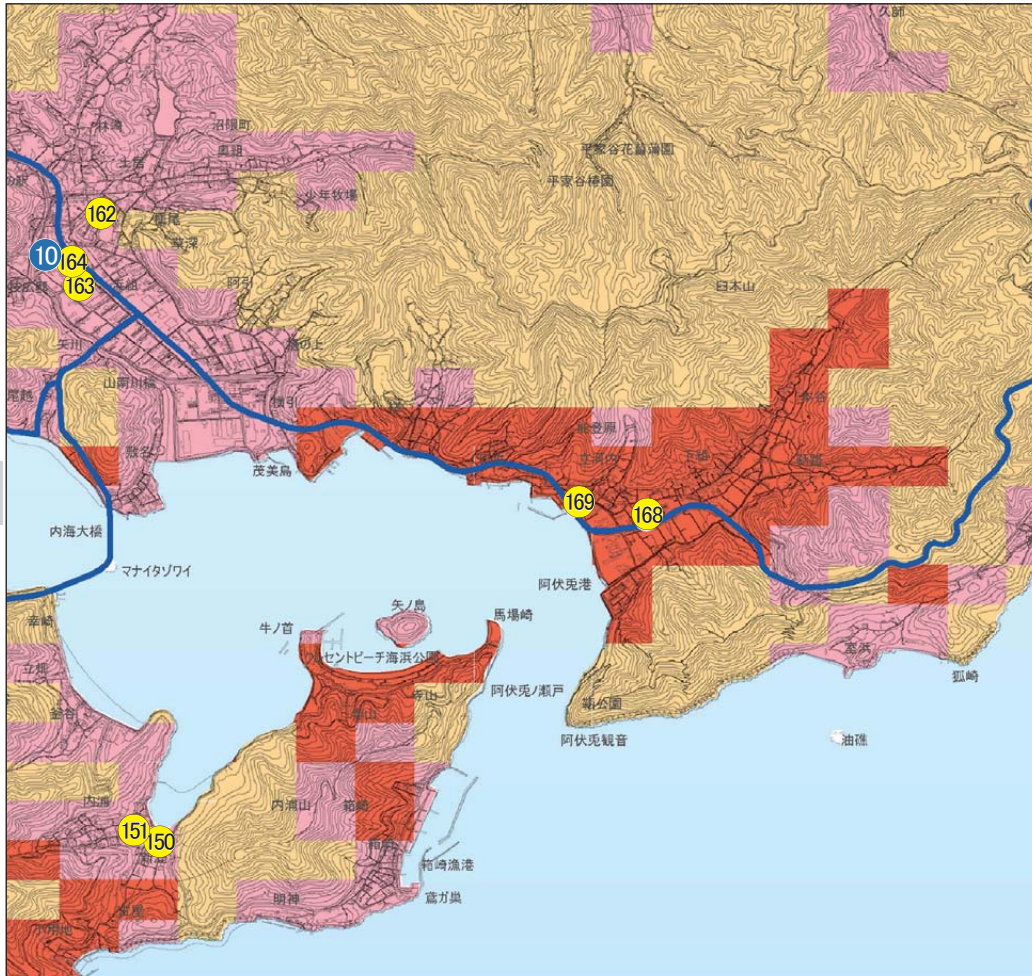
地震に備えてどんな対策をしたらよいか、家族や地域で話し合ってみてください。参考となる対策を福山市のホームページなどでご紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

福山 地震防災マップ 🔍 検索

地震防災マップや参考となる対策はホームページでも確認できます



想定地震：長者ヶ原断層－芳井断層 32 28



No	名称
10	沼隈支所・千年公民館
150	内浦小学校
151	内浦公民館
162	千年小学校
163	千年中学校
164	沼隈サンバル
168	能登原小学校
169	能登原公民館

●：本庁舎および各支所 ●：警察署
●：消防署 ●：公共施設等

緊急輸送道路
 地震直後から発生する緊急輸送を迅速かつ確実に実施するため必要な道路
 道路の耐震性が確保されているとともに、地震時にネットワークとして機能するもの

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情復、第720号)

震度階級のイメージ

震度階級	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4
人の体感・行動	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、飛ばされることもある。	立っていることが困難になる。	大半の人が、歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	ほとんどの人が、揺れを感じ、驚く。	
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが倒れ、飛ばされることもある。	固定していない家具は、倒れるものが多くなる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものがある。	テレビや固定していない家具が倒れることがある。	未固定の家具が移動し、不安定なものに倒れることがある。	座りの悪い置物が倒れることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建築物が多くなる。	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	補強されていないブロック塀が崩れることがある。	まれに窓ガラスが割れる。道路に被害が生じることがある。	電線が大きく揺れ、運転中に揺れに気付く人がいる。
木造建築物(住宅)の状況	耐震性が低い 傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。	耐震性が高い 壁に大きなひび割れが入るものや、傾くもの、倒れるものが多くなる。	耐震性が低い 壁に大きなひび割れが入り、瓦が落下し、全体が傾くことがある。倒れるものもある。	耐震性が高い 壁にひび割れがみられることがある。	壁に軽微なひび割れがみられることがある。	-
鉄筋コンクリート造建築物の状況	耐震性が低い 壁、はり、柱などに斜めやX状のひび割れが多くなる。1階又は中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。	耐震性が高い 壁、はり、柱などにひび割れが多くなる。	耐震性が低い 壁、はり、柱などにひび割れが多くなる。	耐震性が高い 壁、はり、柱などにひび割れが入ることがある。	-	-

注) 震度はそれぞれの地震で想定される最大の震度を表示しています。